ほんもの体験フォーラムin南信州
地域の事例や課題を議論

体験型観光に積極的に取り組み、成果を上げている地域の事例や課題を議論する第16回「全国ほんもの体験フォーラムin南信州」が3月19日、長野県飯田市のシルクホテルを会場にオンラインで開催された。主催は、全国ほんもの体験フォーラムin南信州実行委員会。共催は全国ほんもの体験ネットワーク、全国教育民泊協会。登壇者らの受け入れは同じく飯田市の南信州観光公社が担った。

全国ほんもの体験フォーラムは、2019年3月に長崎県五島市で開催されてからコロナ禍を受けて20年、21年と延期されていた。今回は、基調講演者、コーディネーター、パネリストのみが参加し、ライブ配信。約800人が視聴した。

冒頭、開催地代表として飯田市長の佐藤健氏による来賓あいさつに続き、日本修学旅行協会事務局長の高野満博氏による基調講演と、体験教育企画社長の藤澤安良氏による基調提案を行った。

高野氏のテーマは、「ポストコロナ時代、教育旅行はどう変わるか」で、コロナ禍による教育旅行の中止のため、生徒通常の学校生活ではできない学びの場として再認識され、教育旅行の実施率が改善していると指摘した。

藤澤氏のテーマは、「ほんもの体験は地域を変え、日本を変える～コロナ禍を超えて～」で、コロナにより（体験型の修学旅行ではない）通常の修学旅行を行った学校もあったが、「感動が薄い」として最近、旅行会社から農家民泊などができる地域がないか、という問い合わせが増えているなどと述べた。

藤澤氏をコーディネーターに課題別分科会も開催した。第1会合のテーマは「SDGs教育プログラムの実践と効果、そしてファシリテーター育成」。第2会合のテーマは「withコロナ、ポストコロナの農林漁家泊の戦略と後継者づくり」。第3会合のテーマは、「これからのインバウンド誘致を考える」。

フォーラムの閉会にあたり藤澤氏は、教育旅行の取り組みで変えていかなければならない大きな問題として、日本人の労働に対するモチベーションが先進諸国の中で低いという問題がある。これを引き上げるために必要なことは子どもたちへの教育とともに、大人たちの体験活動が必要。心高まる旅を極めていくこと、人こそ財産、人こそ資源であり、そうした思いをもって体験型観光、体験教育旅行に取り組む地域は今後も奮闘してほしい、などと総括した。

希望者には、今回のオンラインフォーラムの記録データを有償で提供する。価格は税込み2千円。

記録データについての問い合わせ先は、南信州観光公社☎0265（28）1747、もしくはEメール（oyorite@mstb.jp）。

課題別分科会第３セッションの様子

高野氏による基調講演

藤澤社長

修学旅行での手荷物運送
旅行会社に寄り添い 9割がリピーターに
大栄運送

千葉県船橋市を拠点に貨物輸送事業を全国展開する大栄運送（山本龍二社長）が、大手運送会社寡占状態だった修学旅行での手荷物輸送領域に風穴を開けようと奮闘している。大手旅行会社のほか、全国の地元中堅旅行会社にも営業活動を拡大。教育旅行担当者の営業フローなどを理解した上でのやりとりなどが好評で、発注旅行会社の約9割がリピーターになっている。

大手旅行業出身の山本社長によると、修学旅行の手荷物輸送は、価格面での優位性もあって大手運送会社の寡占状態。旅行会社は大手運送会社の受注条件をのまざるを得ない場面も多く、旅行会社の営業マンは見積もりなどで苦労することも多いという。「修学旅行契約の苦労を知るわれわれだからこそ、営業マンに寄り添い、サポートできるようなサービスができる」と山本社長。同社では旅行間際の再見積もり、手配などにも迅速かつ丁寧に対応する。復路の宿泊施設からの自宅配送手荷物も、大手運送会社に比べ短期間での配送を実現。さらに手荷物の配送状況を営業マンにも共有するなど、旅行会社のニーズに即したサービスを心掛ける。

「修学旅行の思い出が詰まった大切なお荷物をお届けする」という「おもてなしの心」を重視する同社では、旅行先での荷物の積み下ろしにも気を配る。同社の営業担当者もしくは同社契約のセンディング・スタッフが現地に行き、運送ドライバーのサポートなどを行うのだ。「センディング・スタッフは旅行手荷物の扱いに慣れており、安心感がある。またサポートがあることでドライバーも安心して仕事ができる。経費はかかるが、よりよい修学旅行手荷物輸送のための必要経費と考えている」と山本社長。

同社は約50社の運送会社や大手引越会社と提携を結び、全国各地の修学旅行に対応している。山本社長は「一度利用すれば、他社との違いを実感してもらえるはず。ぜひ見積もりを取ってみてほしい」とアピールした。

問い合わせは同社営業（山本成雄）☎090（4271）9193、Eメール（sales@daietransport.com）。

アートを体験、遊びながら学ぶ
トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。栃木・那須高原と東京・お台場にあるトリックアートの常設館は、これらの作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、錯覚を感じたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

那須とりっくあーとぴあ 光とアートの世界」を体験

「那須とりっくあーとぴあ」は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。「トリックアートの館」「トリックアート迷宮?館」「ミケランジェロ館」の三つの施設で構成。さらに敷地内の体験館「那須ホワイトスタジオ」では、アートの制作体験ができるプログラムも用意している。

3月19日には「トリックアートの館」がリニューアルオープンした。テーマは「大人女子が子供の頃に憧れていた空想の世界」。おとぎ話の世界を絵画で創り出し、光の演出によって、見る人に幻想的な空間を体験してもらう新しい取り組みだ。

物語のメインとなる二つのエリアが新たに誕生した。そのうちの一つ「海のエリア」では、ランタンが星に変わって空の世界を満喫したい。

もう一つの「家のエリア」は、たくさんある扉の中に、それぞれ違う世界が広がっていくエリア。そのうちの一つ「パパのアトリエ」は、観覧者が白いキャンバスに向かって専用のUVライトを当てると鮮やかな色が浮かび上がり、まるでキャンパスに落書きをしているかのような、子供のころは怒られたかもしれない体験を思う存分できる。

このほかトリックアート迷宮?館は、魔法の世界をトリックアートで再現した館。立つ位置により体験者2人の体の大きさが変わる「エイムズの部屋」が有名だ。

ミケランジェロ館は、イタリアルネサンスの三大巨匠の名作をトリックアートで再現。「最後の晩餐（ばんさん）」や「アテネの学堂」「システィーナ礼拝堂」が見る人を圧倒する。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後5時まで営業（8月は午前9時から午後5時半まで）。入場料3館共通大人2800円、中学生以下1900円。

海のエリア「ランタンファンタジー」

AR対応のトリックアート「ドラキュラのおやつ」

家のエリア「パパのアトリエ」

密を回避し「安心」提供
東京トリックアート迷宮館

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館だ。都内屈指の人気エリアお台場の複合施設に展開。コロナ禍の中、館内や隣接の商業施設は感染防止対策を徹底するほか、海浜公園を見渡す開放的なデッキがあり、密を回避できる。

館内に入り、まず目に入るのは「江戸エリア」。体験したユニークな写真が撮れる。

次の「愉快な忍者とお化けエリア」では、忍者やお化けのトリックアートが来場者を出迎える。隠し扉などさまざまなトリックも仕掛けられていて楽しい。

隠し扉を抜けた先は「トリックアート名作ギャラリー」。過去の名作から最新作まで、多くの作品を展示している。

スマートフォンの画面をかざすと静止画のアートが画面の中で動き出す「AR（拡張現実）」対応のトリックアートも展示。利用には無料アプリのダウンロードが必要だが、スマートフォンを持たない生徒らにはスタッフが端末を使い、体験をサポートする。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人千円、中学生以下700円。

霧島高原自然体験ツーリズム協議会
ガイドブック刷新

霧島高原自然体験ツーリズム協議会（事務局・鹿児島県霧島市役所観光PR課）は、修学旅行や研修旅行に最適な自然体験プログラムなどを集めたガイドブック「まるまるきりしま」（全16ページ）を今年4月にリニューアルした。同ガイドブックは同協議会ウェブサイト（https://kirishima-tourism.com/contact/）からダウンロードできる。

今回から新メニュー「エネルギー学習（SDGs）」「JR肥薩線乗車体験（記念乗車証付き）」が新たに加わった。

◎エネルギー学習（SDGs）

豊富な森林資源に恵まれた霧島市は、木材産業も地域の主要な産業となっている。林業の生産活動の中で、森林での主伐、間伐により産出される木材をバイオマスエネルギーとして利用。新たな地域資源の活用が図られている。持続的な林業経営の確立を目指し、森林資源を活用した環境に優しいバイオマス発電を行っている。

バイオマス発電の仕組みなどを現地で見学、学習することができる。

◎JR肥薩線乗車体験（記念乗車証付き）

熊本県八代市から霧島市隼人駅を結ぶ肥薩線。霧島市は隼人駅―大隅横川駅の区間があり、国登録有形文化財に指定された嘉例川駅をはじめ、第2次世界大戦時の機銃掃射の弾痕が残る大隅横川駅などレトロな駅舎がある。車窓から霧島の大自然をまるまる満喫することができる。

霧島市への修旅に助成
4～12月、旅行会社向け

鹿児島県霧島市は修学旅行客を誘致した旅行会社に対し、同市に送って、生徒1人当たり千円を助成する。対象は4月1日から12月31日までに実施する修学旅行。助成は、予算上限に達し次第、終了する。

条件は、全ての参加者が同市内の宿泊施設に宿泊し、次のいずれかを伴うこと。市内の飲食店で昼食をとる▽自然体験プログラムなどを集めたガイドブック「まるまるきりしま体験」に記載のある体験メニューを行う▽市内に本社を置く法人が運行するバスを利用する▽市内に本社を置く法人が運航する航空機を利用する。

交付要綱や申請手続き等は、同市ウェブサイト（https://www.city.kirishima.jp/kiriken/kanko/shuryokikaku.html）に掲載されている。

詳細に関する問い合わせ先は、霧島市役所観光PR課☎0995（64）0895。

エネルギー学習（SDGs）

JR肥薩線乗車体験（記念乗車証）

重点は「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」
日修協「教育旅行年報2021」データ

日本修学旅行協会は、2020年度に実施された全国の中学校、高等学校の国内修学旅行、海外・訪日旅行について調査し、その結果をまとめた「教育旅行年報 データブック2021」を2021年12月に発行した。そのうち高校の修学旅行で重点を置いた活動とその件数、実施率を示したのが掲載の表である。

1位は「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」は49・2％（前回43・1％）、2位「平和学習」が36・1％（前回38・9％）と前回と同様の活動が上位二つを占めた。3位は、今回新しい選択肢として設けた「水族館、動物園、自然・科学系博物館など」で、4位の「伝統的町並みや建造物群保存地区の見学」ともに約4校に1校が回答した。

大きく順位を上げたのは、近年の大規模自然災害の頻発から重要性が高まっており、また東日本大震災の各被災地でそれを学べる施設の開館が相次ぐ今回6位の「震災学習、防災学習」、同9位の「絵付け、焼き物、伝統工芸など」、同11位の「スキー・スノーボード、スケートなど」である。

「その他」の内容としては、テーブルマナー講習が複数挙げられ、進路講話といったものもあった。

表　重点を置いた活動内容とその件数・実施率

（単位：件・％）

順位 前々回	順位 前回	順位 今回	活動内容	国立 件数	公立 件数	私立 件数	全体 件数	全体 実施率
1	1	1	遺跡、史跡、文化財、社寺などの見学		81	50	131	49.2
2	2	2	平和学習（体験講話含む）		56	40	96	36.1
		3	水族館、動物園、自然、科学系博物館など		40	21	61	22.9
4	5	4	伝統的町並みや建造物群保存地区の見学		38	21	59	22.2
5	7	5	自然体験や野外活動体験（無人島体験、洞窟体験など含む）		28	11	39	14.7
15	15	6	震災学習、防災学習		19	13	32	12.0
12	3	7	博物館などの見学		10	17	27	10.2
16	11	7	その他スポーツ（ラフティング、カヌー、フィッシング、熱気球、トレッキング、乗馬など）		18	9	27	10.2
17	19	9	絵付け・焼き物・伝統工芸など		14	12	26	9.8
6	7	10	マリンスポーツ（ダイビング、シュノーケリングなども含む）		10	12	22	8.3
3	4	11	スキー、スノーボード、スケートなど		10	11	21	7.9
14	13	12	産業や産業遺産の見学		14	5	19	7.1
8	10	12	伝統文化、伝統芸能、祭り体験（茶道、舞妓、着付け、三味線、ベーロン、エイサーなど含む）		11	8	19	7.1
22	22	14	美術館などの見学		11	5	16	6.0
11	17	15	環境学習		10	2	12	4.5
8	6	15	職場訪問、職場体験・職業講話、工場見学など		6	5	11	4.1
23	20	17	料理・食品加工体験（そば打ち、菓子作り、魚さばきなど）		8	1	9	3.4
21	23	18	歌舞伎、文楽、能楽などの鑑賞		4	0	4	1.5
13	12	18	ミュージカル、演劇などの鑑賞		2	2	4	1.5
7	9	18	その他くらし体験		2	2	4	1.5
10	14	18	学校見学（大学、専門学校など）		4	0	4	1.5
19	15	22	座禅、法話、写経など（出張含む）		3	0	3	1.1
20	20	22	国際交流（外国人、留学生との交流）		3	0	3	1.1
18	18	24	農業体験		2	0	2	0.8
27	27	25	コンサート、音楽の鑑賞		0	1	1	0.4
26	26	25	酪農体験		0	1	1	0.4
25	24	25	漁業体験（釣り、地引網を含む）		1	0	1	0.4
28	28	25	ボランティア体験		0	1	1	0.4
28	29	25	介護・福祉体験		1	0	1	0.4
28	29	－	林業体験		0	0	0	0.0
24	25	－	販売・商業体験		0	0	0	0.0
			その他		23	10	33	12.4
			合計		429	260	689	

※複数回答可（三つまで）
※その他には「テーブルマナー講習会」や「進路講話」「生徒による行程の企画」などが含まれる。